

資源循環型ものづくりを実現するための学術的指針

国では2020年に1990年比で25%CO₂削減を国内外に宣言し、併せてグリーンイノベーションを推進することを第4期科学技術基本計画の柱として決定した。これらの政策立案を支援できるように、日本学術会議生産科学分科会として、ものづくり分野からの貢献の可能性・役割を学術的に検討し、「資源循環型ものづくりを実現するための学術的指針」として取り纏めたので広く一般に広報するためにシンポジウムを開催する。

日本学術会議 生産科学分科会委員長 古川勇二

主 催 : 日本学術会議, 精密工学会
開催日時 : 平成23年7月7日(木) 13時30分~17時00分
開催場所 : 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)
<http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>
参加費・資料代 : 無料(資料は関係者分を含め200部用意します)

プログラム

(1) 講演 13:30 ~ 15:30

- 司 会 岸浪 建史(第三部会員, 釧路工業高等専門学校校長)
- 13:30~13:50 日本学術会議生産科学分科会の活動と21期の成果報告について
古川 勇二(第三部会員, 職業能力開発総合大学校校長)
- 13:50~14:10 ものづくりを取り巻く環境変化
間瀬 俊明(デジタルプロセス株式会社相談役)
- 14:10~14:30 資源循環型ものづくり経営科学の指針
圓川 隆夫(連携会員, 東京工業大学社会理工学研究科教授)
- 14:30~14:50 資源循環型ものづくりを実現するための生産システム科学の指針
高田 祥三(連携会員, 早稲田大学理工学術院教授)
- 14:50~15:10 設計情報循環のためのものづくり科学の課題と提言
鈴木 宏正(連携会員, 東京大学先端科学技術研究センター教授)
- 15:10~15:30 精密工学会の方針と役割
森脇 俊道(連携会員, 精密工学会長, 摂南大学理工学部長)

(2) パネル討論 15:45 ~ 17:00

- 司 会 古川 勇二(第三部会員, 職業能力開発総合大学校校長)
- パネリスト 講演者, 分科会委員, その他機関から数名を予定

会場までのアクセス

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

参加申込および問合せ先

事前申込不要, 会場にて直接受付します

問合せ先

東京大学 生産技術研所 帯川利之
E-mail: obikawa@iis.u-tokyo.ac.jp
電話: 03-5452-6771

